

相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL(0791)23-0800



HPのQRコード

48回生 4月17日

校外学習 USSJ

4月17日(金)、待ちに待った校外学習、ユニバーサルスタジオオジャパンを満喫してきました。好天にも恵まれ、これから始まる受験勉強に向かう前に、身も心もリフレッシュできた一日となりました。アトラクションで大声を上げ、出会うキャラクターには大はしゃぎし、満面の笑みでうかべた写真をたくさん残してくれました。帰るときには袋いっぱいのお土産と大きなかぶり物、そして楽しい思い出で満たされていました。気持ちを切り替え、全員が一丸となり、進路実現に向けてより一層頑張ります。



49回生 4月17日

野外活動 ペーロン競漕体験

晴天に恵まれた4月17日(金)、新学年になり新たなクラスの親睦と団結力を高めるねらいを込めて、相生市が誇る伝統行事「ペーロン競漕」体験を実施しました。各クラスを紅白の2つずつの班に分け、午前中はペーロンに乗船しての漕ぎ方練習とペーロン文化についての学習を交互に行いました。相生市地域振興課商工観光係の破魔様と、ペーロン協会のみなさまに熱心にご指導していただきました。漕ぎ方練習では、担任の大きな掛け声のもと銅鑼や太鼓の独特のリズムに合わせて漕ぎ方を練習する時間がありました。漕ぎかけに行きました。小さな声も徐々に大きくなり、漕ぎ方も徐々



に大きくなり、バラバラだった漕ぎもなにか揃っていきました。叱咤激励してくださるペーロン協会の方々の熱い思いが生徒たち

に伝わったのでしよう。午後は10の班の予選レースとそれを勝ち抜いた5つの班による決勝レースを行いました。予選第一組の紅班では2組と5組、第二組の白班では5組と4組が勝ち抜き、最後の1枠をわずかなタイム差で3組白班が勝ち取りました。決勝戦では、どの班も今までの上のチームワークを見せ、5組白班が2組紅班を僅差でかわし、優勝の栄誉を勝ち取りました。決勝に進めなかった班も、最後の最後まで熱心な応援を続け非常に盛り上がりました。すべてが終わった後は力を出し切った達成感にあふれており、ペーロン協会の方からも非常に良い競漕だったとお褒めの言葉をいただきました。49回生の船出を力強く感じることができた一日でした。



50回生 4月17日

野外活動 羅漢の里

4月17日(金)、50回生が相生市矢野町の「羅漢の里」にて一日野外活動を実施しました。天候に恵まれ、新緑のなかで50回生の絆を深める一日となりました。午前中は感状山城跡への登山に挑戦。初めて登る生徒も多く、相生が誇る史跡の険しさと、頂上からの絶景に驚きの声が上がっていました。下山後には「桔梗隼光鍛刀場」で、鍛刀についての説明や実演を見学させていただきました。昼食はバーベキューでした。慣れない火起こしに苦戦し、煙に巻かれる班も続出しましたが、苦勞の末に焼き上がった肉や野菜の味は格別だったようです。なかには焼きおにぎりを作る班も見られ、あちこちで笑顔が弾けました。午後からは校歌コンクール



です。50回生の決意がこもった力強い歌声が羅漢の里に響き渡り、「相生高校50回生ここにあり!」という気概を存分に体現してくれました。全クラスが甲乙つけがた

い、素晴らしい合唱を披露しました。野外活動の最後を締めくくったのは大縄跳び大会。限られた練習時間でしたが、各クラスが声を掛け合い、必死に縄を追う姿は印象的でした。思うように跳べず悔しい思いをしたクラスもありましたが、これは体育大会へ向けての絶好の「宿題」となはずです。「楽しむこと。友だちを作ること」を目標にスタートした1日でしたが、その目標をしっかりと達成できたと思います。入学以来様々なオリエンテーションがあり、緊張が続く毎日だったと思います。またうまく友だちができるか、などの不安も抱えていたと思います。しかし、日常を離れ、爽やかな新緑の下で過ごしたこの体験で、それらの緊張や不安を少なからず解消できたのではないかと思います。多くの方々に見守られながら、50回生は少しずつ成長していくと思います。皆様のご支援よろしく願います。

